

県建設コンサルタンツ協会総会

C P D 活動を支援



公益法人としての役割を果たしていきたいーなどと挨拶する岩井会長＝鹿児島市の鹿児島東急ホテルで

県建設コンサルタンツ協会(岩井健会長)は26日、鹿児島市の鹿児島東急ホテルで19年度通常総会を開き、資格取得者の継続教育(CPD)活動の支援や、経営・技術研修会ならびに各種講習会

開催、広報活動の積極的な推進等を柱とする新年度事業計画を決めた。総会では冒頭、岩井会長が「今年度も、道路・河川・砂防・橋梁・農業土木の5専門部会活動を技術研さんの中心に位置付け積極的な活動を展開していききたい。また、社

会情勢の変化・動向をしっかり認識し、他団体との連携を図りながら、公益法人として地域社会発展に貢献しなければならぬ」と挨拶。引き続き、上野毅氏(新日本技術コンサルtant)を議長に選出し、18年度事業計画案・収支予算案等を承認した。会員の冒頭で関係物故者に黙とう

役員改選など協議した総会＝奄美市の奄美観光ホテルで

大島電気工事業協組総会

新分野進出も視野に

大島電気工事業協組(高田幸三理事長)の19年度通常総会が25日、奄美市の奄美観光ホテルであり、19年度事業計画案・収支予算案等を承認した。会員の冒頭で関係物故者に黙とう



復に向かっているといわれているが、地方と中央の温度差は相変わらず大い。公共工事の削減や見直し、価格破壊などが進み、組合にとって深刻な状況が続いている。これからの業界は提案型営業や技術向上に力を注ぐほか太陽光発電など新しい分野への進出も視野に入れ、生き残りを図らなければならぬ」と挨拶した。

議事では18年度事業報告・決算関係書類承認、19年度事業計画案・収支予算案承認を行ったほか、役員改選で現行体制

市電軌道敷緑化等完成記念式典

市街地の活性化に

鹿児島市

鹿児島市が進めている市電軌道敷緑化整備の一歩区間がほぼ完成し、26日、鹿児島中央駅前広場で完成記念式典および新設電車運行開始式があった。出席した関係者は、国内初となる本格的な芝生軌道敷整備事業の一部完成等を祝った。

式典では、森博幸鹿児島市長が「市電軌道敷の緑化・ライトアップ整備と連接式超低床電車(2編成)の導入により、全



完成を祝いテープカットする森市長(左から2人目)ら関係者＝鹿児島中央駅前広場で

薩摩川内建築建友会総会

再選 基幹産業の育成を

薩摩川内建築建友会(橋口知章会長、31社)

は25日、薩摩川内市の川内ホテルで19年度(第46回)総会を開き、現場技術研修会開催や「木の目」PR活動実施等の事業計画を決めた。

役員改選では、橋口会長と廣瀬十副会長が留任。吉満祐市理事が副会長に新任した。新規加入は、(株)入来建設(堀之内正和社長)。総会後、県

市建設職員や地元選出県議を迎え、懇親会を

開き、意見交換をした。橋口会長は「全国有効求人倍率を見ると鹿児島県が0.59倍、川内管内は0.56倍。景気が回復したと伝えられているが、私どもの地域は全国平均の半分。この数字からも依然厳しい状況にあることが推測できる。ぜひ、地域の基幹産業である建設業をしっかりと育てていきたい。私どもも耐えるところは耐え、我慢するところは我慢する」と挨拶。

また、総会前に技術研

修会があり、県北薩地域の北方智裕係長、向原翼

薩摩川内市教育長、西村政秀(鹿児島建設新聞川内支局長が、それぞれの立場から講話した。総会

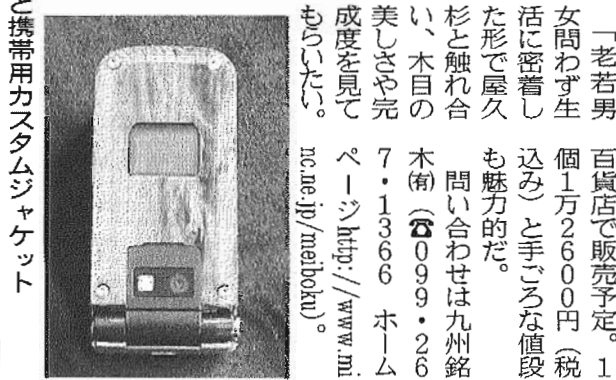
司会を吉満祐市理事。懇親会の司会は徳丸節男理事。

新役員は次の通り。会長＝橋口知章(橋口組)▽副会長＝廣瀬十士(株)植村組 吉満祐市(株)吉満組▽相談役＝吉満伊祐(株)吉満組▽理事＝徳丸節男(株)田代組 野元善文(太陽建設) 森尾常喜(株)技建(株)桑原安朗(南桑原組)▽当番幹事＝内野正洋(内野組) 山元悦朗(南山元製材所)

九州銘木

屋久杉製 パソコンキーボード試作

魅力をアピール



九州銘木(株)は、このほど、屋久杉の土埋木を使ったパソコンのキーボードを試作製作した。同社では、国産世代を中心に「退職後はパソコン教室に通いたい」との多くの声に着目。同じ木を使用。メカとさまたま打ち合わせを行った上で、全体的なまとまりに考慮した。例えば使うほど光沢を増し、屋久杉独自の味が出てくるのが特長。

「老若男女問わず生活に密着した形で屋久杉と触れ合いたい。木目の美しさや完成度を見てほしい。」

問い合わせは九州銘木(株)099-275-3600(代) 7・1366 ホームページhttp://www.mn.ne.jp/meiboku。

株式会社大城

県知事許可(特-17)第4087号 鹿児島市宇宿町1955-1 (099)275-3600(代) FAX(099)275-3601番

お手軽で便利な 購読料のお支払いは

自動振替で

鹿児島建設新聞 099-227-5100へ